

最近の結婚事情

「結婚相手選びに重要視する条件は？」

ベスト5は「性格」、「価値観」、「愛情」「所得」「容姿」という順になっています。(男女間で順位の違いがありますが)

「結婚には相手の経済力が必須条件？」という質問に対して、「はい」と回答した女性が8割にも達し、女性は男性に対して経済力を大変重視しています。

女性に「結婚相手に求める理想年収」について質問したところ、「最低600万円」が最も多く、次いで「800万円以上」、「1,000万円以上」という順になっています。

同時に、女性に「結婚したい男性が「年収妥協ライン」を下回る場合は」と質問したところ、約3割は「結婚をあきらめる」という結果には驚きですが・・・

「共働きを希望する」女性が半数、「出産後に仕事復帰を希望する」女性が6割という結果から、結婚する際、男性にとっては経済面だけでなく、家事や育児など本当の意味での協力が必要とされることが分かります。そのため、結婚相手選びに重視する条件として、男女共に性格、価値観、愛情が上位3位に挙げられ、内面を重視していると言えます。

ただ、女性の8割が、「結婚には相手の経済力が必要」と回答している一方で、結婚相手の年収妥協ライン400万円を超えている未婚男性は約半数しかおらず、女性が男性に求める年収と現実にはかなりの開きが！ この、女性の要求の高さが、晩婚化、未婚化が加速している一つの要因と思われる。(この部分を親が補填しにくい時代になっていることも)

「結婚相手の条件は「三高」から「三低」。そして2009年は「三手」へ！

10年前までは、「三高」(高収入、高学歴、高身長)が結婚相手の男性の条件と言われていましたが、ここ1・2年「三低」(低姿勢【レディーファースト】、低リスク【公務員、資格保有者などリスクが低い安定した職業】、低依存【束縛しない、お互いの生活を尊重】)に変わって来ています。

2009年は、この「三低」に加えて、「三手(さんて)」(手伝う【家事や育児への積極的姿勢】、手を取り合う【お互いの理解と協力】、手をつなぐ【愛情】)が、男性には必要になると予想します。未曾有の不況下では収入アップは見込めず、ますます低収入に喘ぐ現実が待ち構えており、女性の希望する稼ぎとのギャップを、【三手】でいかにうめれるか(結婚する為には)にかかっているような気がします。

【結婚していない人の割合】平成17年度国政調査結果

(30歳～34歳 男性47.1%、女性32%)(35歳～39歳 男性30%、女性18.4%)
平成12年度より、男性4.3% 女性4.6%上昇しています

【2009年一生結婚しない人の割合】

(男性 15%)

(女性 7%)